

# 株式会社ニレコ(6863) 2018年3月期第2四半期 決算説明資料

2017年11月17日

業績推移



実績及び計画

	17/3期上期	18/3期上期	18/3期計画
受注高	3,577百万円 (16/3期上期比▲11%)	4,057百万円 (17/3期上期比+13%)	8,200百万円 (17/3期比+8%)
売上高	3,295百万円 (16/3期上期比▲4%)	3,565百万円 (17/3期上期比+8%)	8,000百万円 (17/3期比+8%)
営業利益	119百万円 (16/3期上期比▲47%)	204百万円 (17/3期上期比+72%)	620百万円 (17/3期比+15%)

▶ 売上高・営業利益ともに計画を下回ったものの前年同期より堅調に推移  
 ▶ 市場環境、受注環境を鑑み増収増益の計画

重点テーマ

市場の拡大

技術の進化

+

株主還元

**いかなる環境下においても成長できる体制の実現**

**18/3期上期の取組み進捗状況**

**事業基盤の拡大強化**

**競争優位性の向上**

- プロセス韓国市場の開拓(メカトロ事業の開始)
- 加工食品関連向け検査事業の開拓
- 新事業分野への検査装置の開発

安定配当の維持を基本に配当性向35%を目標

1. 上期実績
2. 今期計画
3. 持続的成長に向けて

# 1. 上期実績 (2017/4 – 2017/9)

## 連結実績

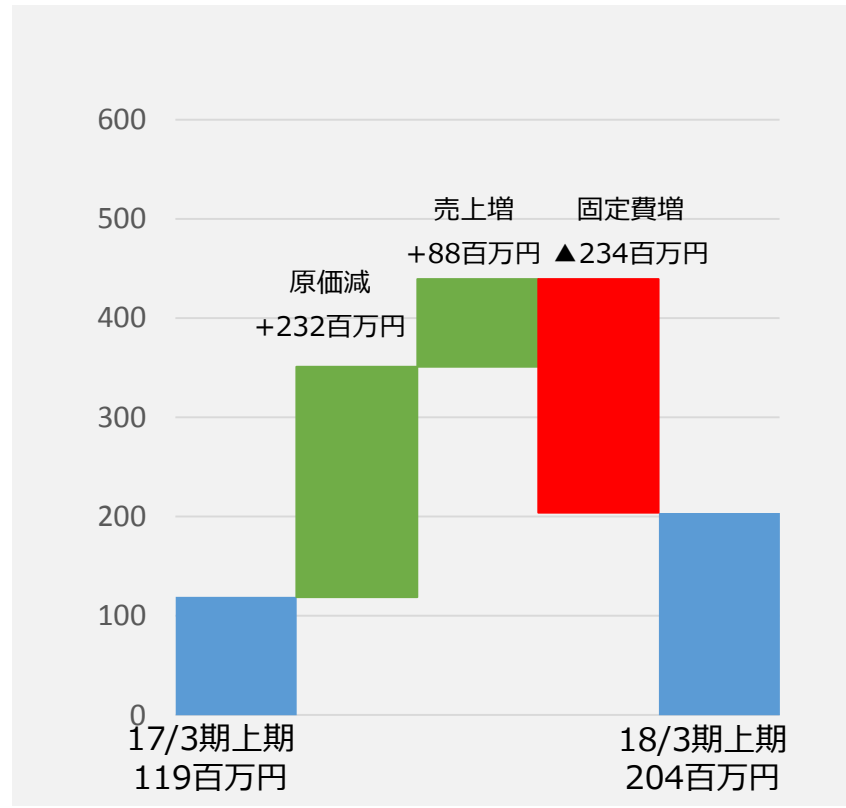
- 売上高・営業利益ともに計画を下回ったものの、前年同期比は増収増益。

(単位：百万円)

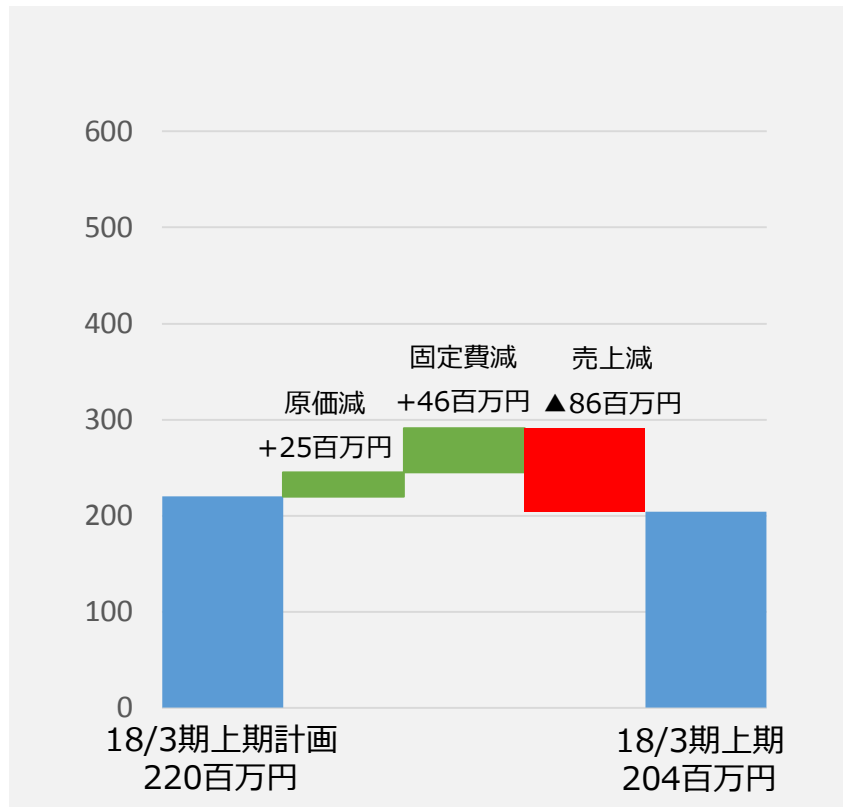
	17/3期	18/3期		増減率	
	上期実績	上期計画	上期実績	前期比	計画比
受注高	3,577	3,900	4,057	+13%	+4%
売上高	3,295	3,800	3,565	+8%	▲6%
営業利益	119	220	204	+72%	▲7%
営業利益率	3.6%	5.8%	5.7%	-	-
経常利益	132	260	257	+94%	▲1%
経常利益率	4.0%	6.8%	7.2%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	60	170	173	+186%	+2%
当期純利益率	1.8%	4.5%	4.9%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	8.33	23.10	23.55	+183%	+2%

# 営業利益増減要因

前期比



計画比



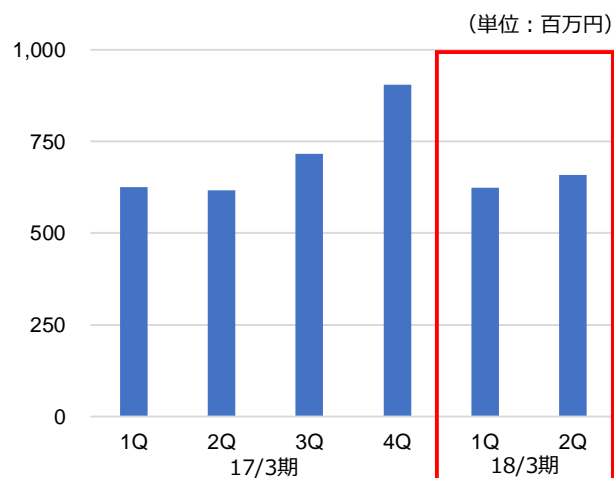
# プロセス事業

- 受注高・売上高・利益ともに前期比増
- 注力製品である計測装置の売上高が増加

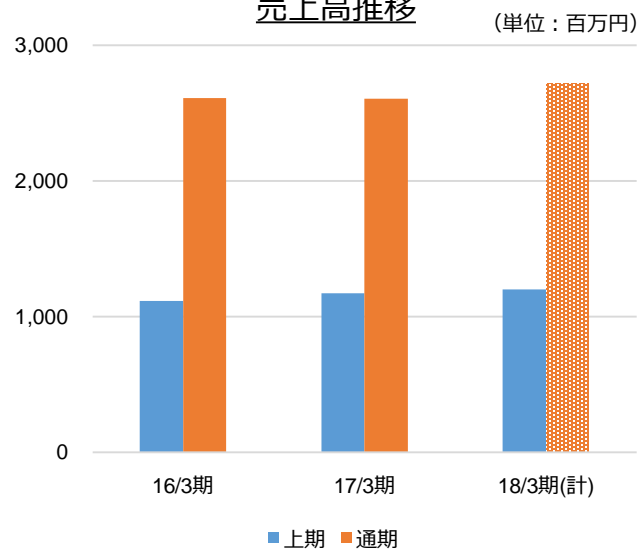
(単位：百万円)

	17/3期	18/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	1,240	1,282	+3%	2,860	44%
売上高	1,172	1,198	+2%	2,720	44%
セグメント利益	143	241	+68%	530	45%
セグメント利益率	12.2%	20.2%	-	19.5%	-

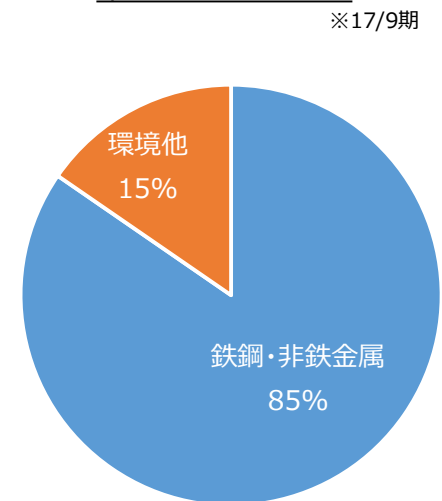
受注高推移



売上高推移



業種別売上構成比



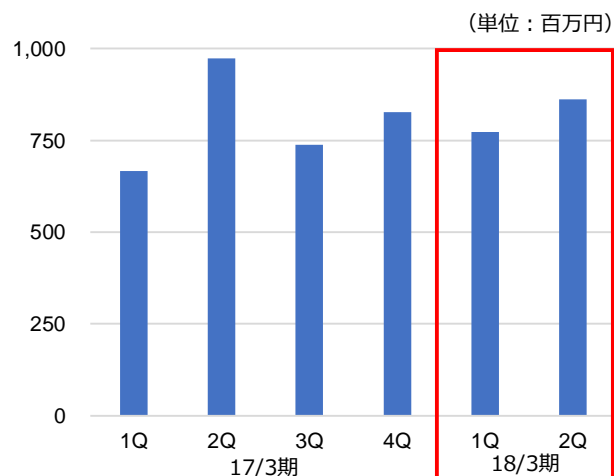
# ウェブ事業

- FPD・二次電池の堅調な設備投資により売上高・利益ともに前期比で上回る
- コストダウンによる収益性改善

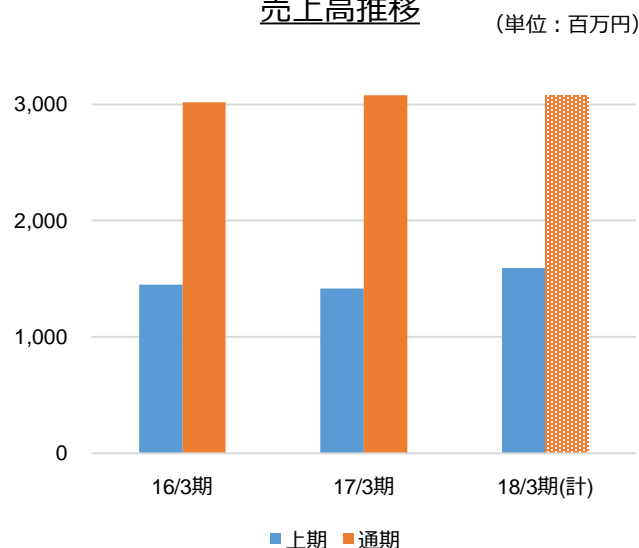
(単位：百万円)

	17/3期	18/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	1,640	1,634	▲0%	3,200	51%
売上高	1,418	1,593	+12%	3,080	52%
セグメント利益	255	360	+41%	540	67%
セグメント利益率	18.0%	22.6%	-	17.5%	-

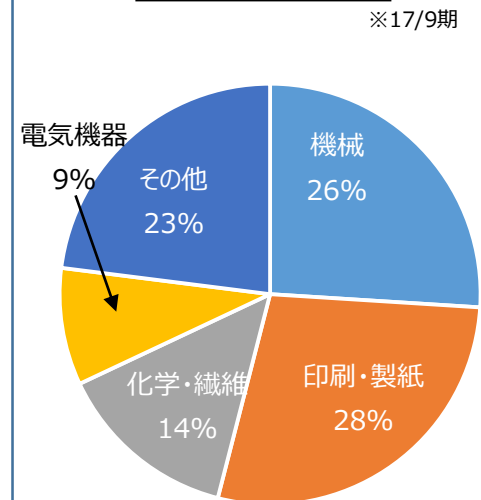
受注高推移



売上高推移



業種別売上構成比





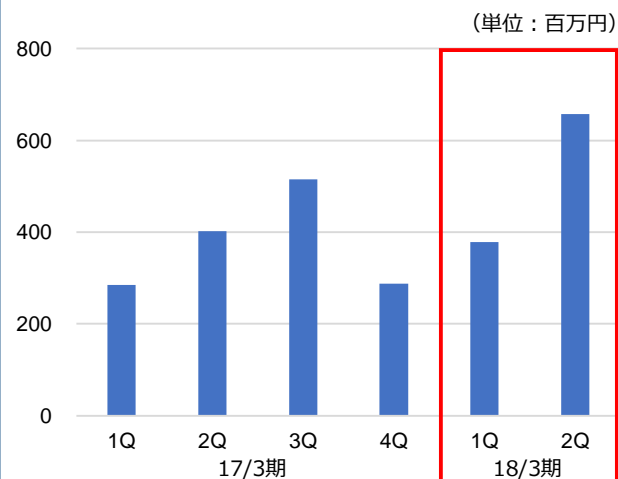
# 検査機事業

- 売上高・利益は前期並みに推移も受注高は大幅増
- 選果装置が野菜向けを中心に受注高・売上高ともに回復

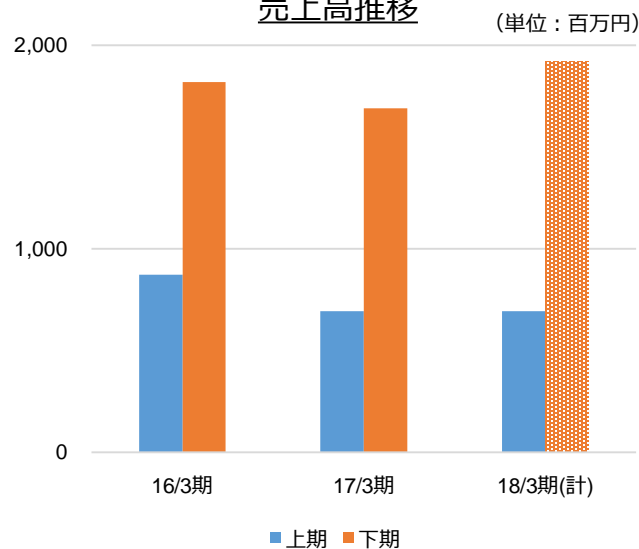
(単位：百万円)

	17/3期	18/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	685	1,035	+51%	1,900	54%
売上高	693	694	+0%	1,920	36%
セグメント利益	-21	-13	-	130	-
セグメント利益率	-	-	-	6.8%	-

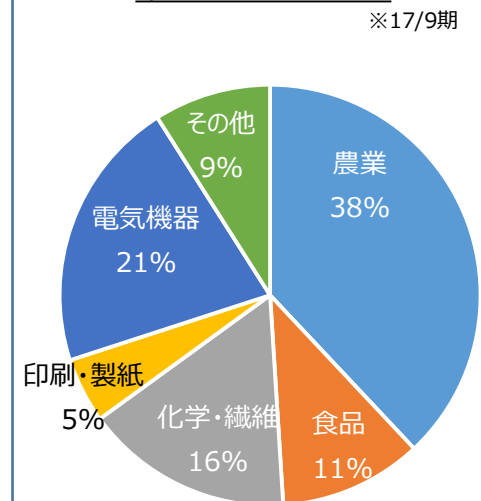
受注高推移



売上高推移



業種別売上構成比

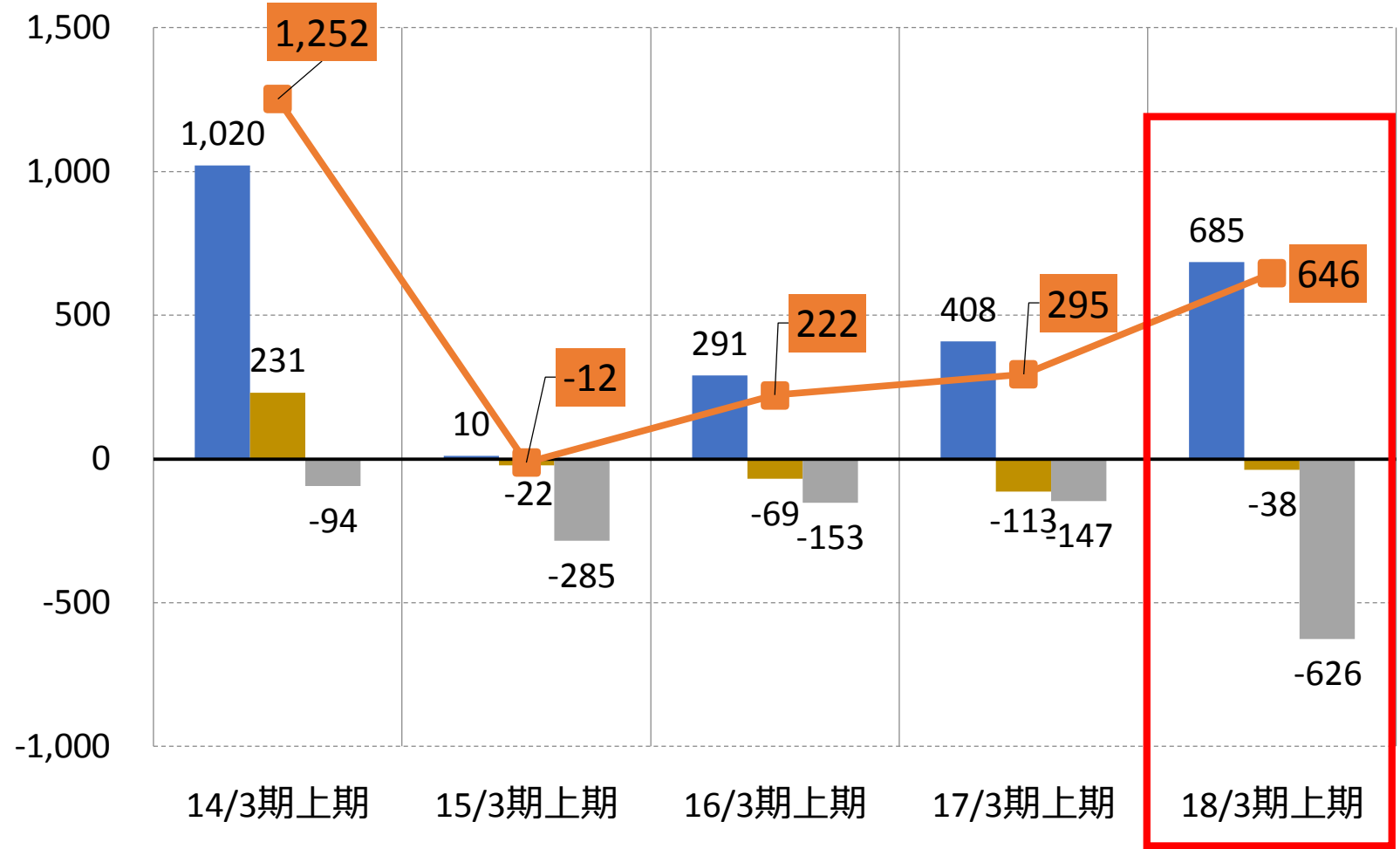


# 貸借対照表

(単位：百万円)

	17/3期		18/3期上期		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
現金・預金	5,130	36.3%	5,242	37.6%	+ 112
売上債権	3,007	21.3%	2,542	18.2%	▲ 465
有価証券	14	0.1%	0	-	▲ 14
棚卸資産	1,572	11.1%	1,655	11.8%	+ 83
その他流動資産	264	1.9%	348	2.4%	+ 83
<b>流動資産</b>	<b>9,989</b>	<b>70.7%</b>	<b>9,788</b>	<b>70.3%</b>	<b>▲ 201</b>
有形固定資産	2,153	15.2%	2,070	14.8%	▲ 83
無形固定資産	459	3.2%	422	3.0%	▲ 37
投資その他資産	1,524	10.8%	1,632	11.7%	+ 108
<b>固定資産</b>	<b>4,137</b>	<b>29.3%</b>	<b>4,126</b>	<b>29.6%</b>	<b>▲ 11</b>
<b>資産合計</b>	<b>14,127</b>	<b>100.0%</b>	<b>13,914</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲ 213</b>
買入債務	325	2.3%	349	2.5%	+ 24
その他流動負債	1,304	9.2%	1,107	7.9%	▲ 197
<b>流動負債</b>	<b>1,629</b>	<b>11.5%</b>	<b>1,456</b>	<b>10.4%</b>	<b>▲ 173</b>
固定負債	681	4.8%	378	2.7%	▲ 303
<b>負債合計</b>	<b>2,310</b>	<b>16.4%</b>	<b>1,834</b>	<b>13.1%</b>	<b>▲ 476</b>
<b>純資産合計</b>	<b>11,817</b>	<b>83.6%</b>	<b>12,080</b>	<b>86.8%</b>	<b>+ 263</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>14,127</b>	<b>100.0%</b>	<b>13,914</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲ 213</b>

# キャッシュ・フローの状況



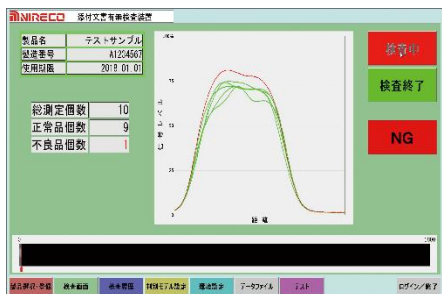
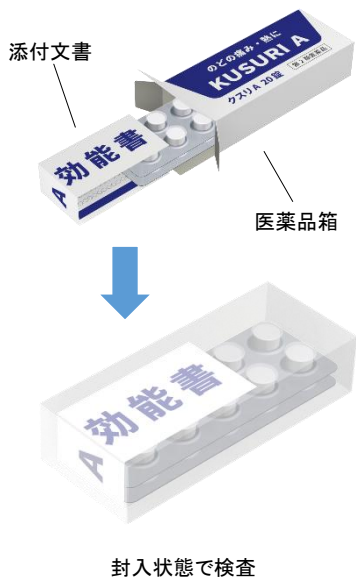
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー
 ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー  
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー
 ■ フリー・キャッシュ・フロー※

※フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

# トピックス/医薬品添付文書有無検査装置の開発

磁界センサによる非破壊検査

ニレコ独自の波形分析で有無を可視化



有無判別をリアルタイム表示



## 【用途】

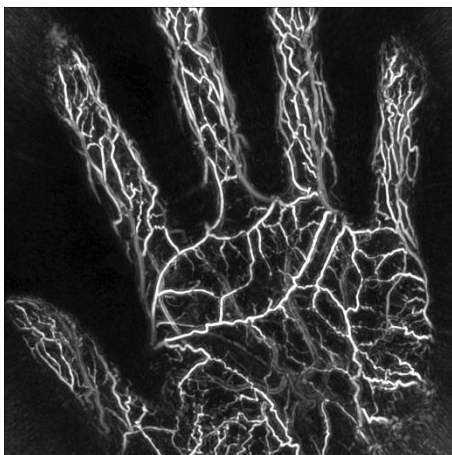
- 医薬品の箱内に包装された添付文書の有無を箱を開けずに検査可能。

## 【特長】

- 反射型磁界センサで磁界を発生させ、PTPシート(※)やアルミ包装体から発生した渦電流の変化を検出して波形分析することで、添付文書の有無の検査精度を向上。
- 医薬品の大きさや重量に関係なく、添付文書の有無を高精度に検査。

※ PTP (press through pack): 薬を包装する方法の1つで、錠剤やカプセルをプラスチックとアルミで挟んだシート状のもの。

# トピックス/超小型波長可変パルスレーザーの開発



計測画像  
(掌の血管網と血液状態)

## 【用途】

- 人体の血管網と血液状態(酸素飽和度)をリアルタイム計測
- 早期診断や美容・健康に関わる身体機能モニタリング
- 工業材料中の劣化や亀裂などを可視化する非破壊計測

## 【特長】

- 特定波長のみを発振させる新しい構造のレーザー共振器(※1)を波長ごとに並べることにより、小型化・低コスト化に成功。
- 励起レーザーの光路を切替え、それぞれ波長の共振器に入射し、2波長を高速で発振することが可能。

※ レーザ共振器: 固体レーザーのレーザー光を取り出す主要部品



## 2. 今期計画 (2017/4 – 2018/3)

## 連結計画

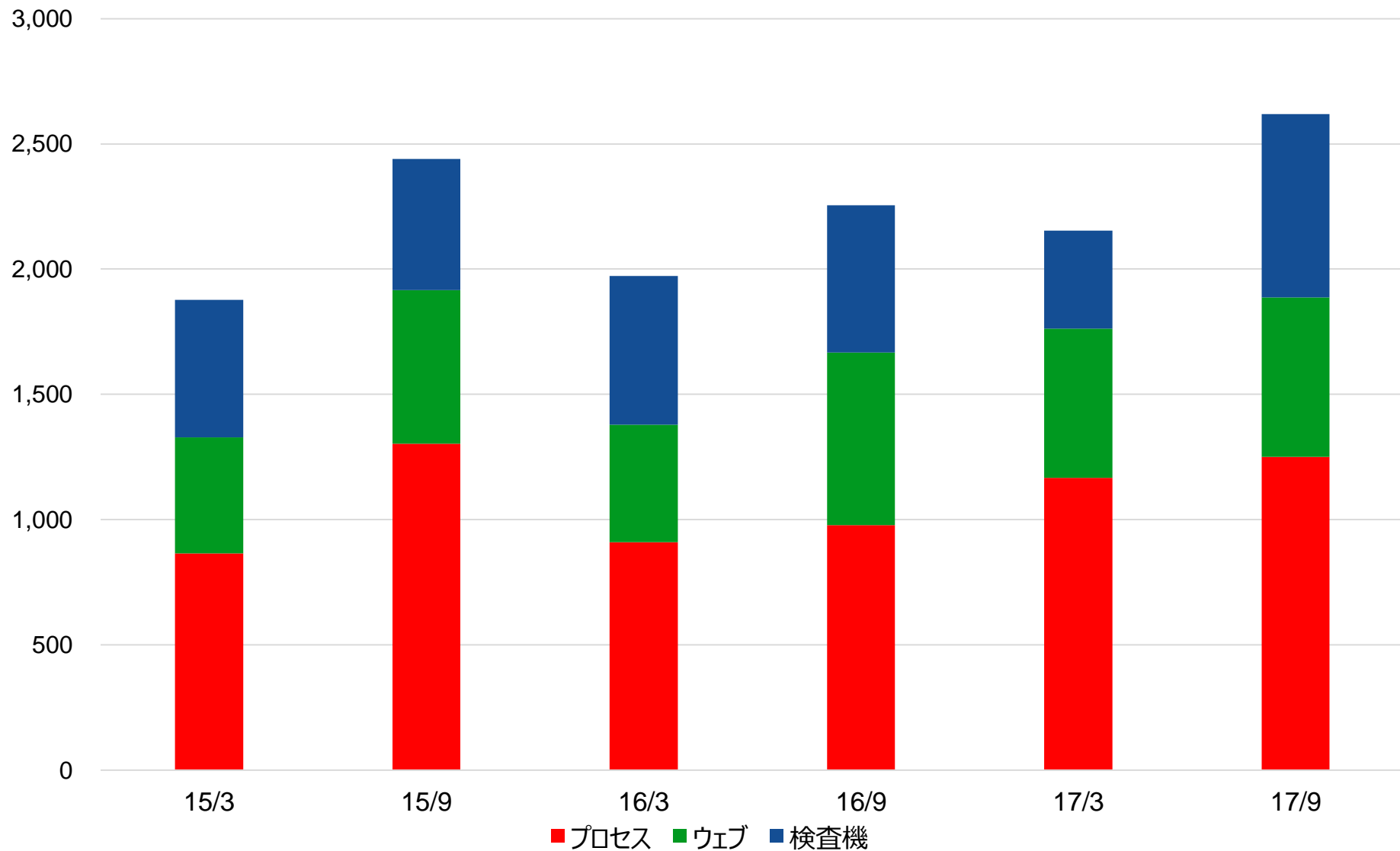
- 受注高、売上高は前期比増の計画
- 利益面は増収及び製品コストダウンにより増益の計画

(単位：百万円)

	17/3期 実績	18/3期 計画	増減率 実績比
受注高	7,584	8,200	+8%
売上高	7,401	8,000	+8%
営業利益	537	620	+15%
営業利益率(%)	7.3%	7.8%	-
経常利益	572	720	+26%
経常利益率(%)	7.7%	9.0%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	368	500	+36%
当期純利益率(%)	5.0%	6.3%	-
1株当たり当期純利益(円)	50.39	67.94	+35%

# 受注残高状況推移

(単位：百万円)





# セグメント別対象市場の状況と施策：プロセス事業

## 国内鉄鋼市場

- 老朽設備更新、品質向上のための設備投資需要続く



- 引き続き品質向上に資する製品の販売に注力
- 更新サービス需要の計画的な取り込み

## 海外鉄鋼市場

- 中国での生産能力調整中に伴い新規の設備投資需要回復へ
- 韓国では設備更新需要を中心に拡大傾向

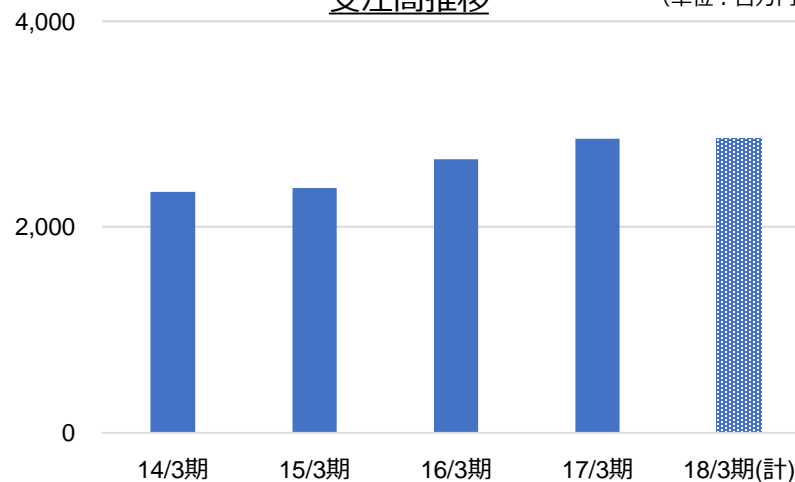


- 子会社を活用した中韓市場のシェア向上に注力
- 海外向け製品開発に注力

	17/3期 実績	18/3期 計画
受注高	2,862	2,860
売上高	2,606	2,720
セグメント利益	434	530
セグメント利益率	16.7%	19.5%

受注高推移

(単位：百万円)



# セグメント別対象市場の状況と施策：ウェブ事業

## 高機能フィルム市場

- 二次電池、FPD向けを中心に引き続き高い水準で安定



- 生産体制を強化し市場拡大に対応

## 印刷市場

- 加工食品向けの特殊印刷、軟包装は安定

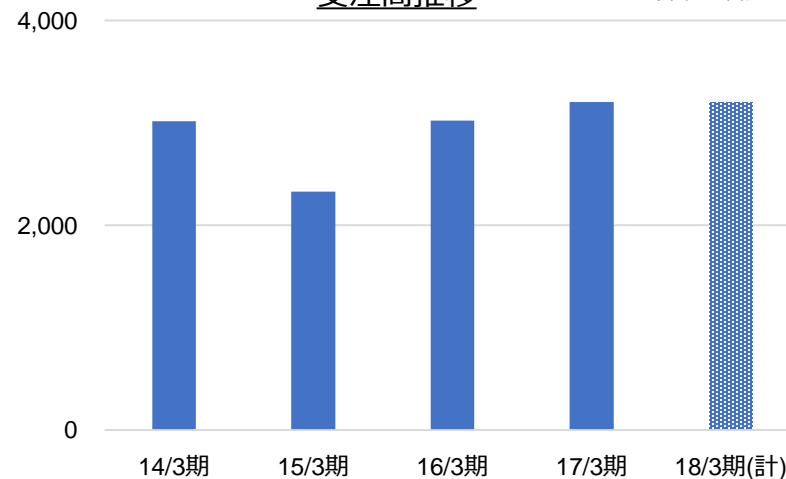


- 食品パッケージ向けを中心に製品投入を継続
- 市場評価の高いデザインポジションコントロールシステムの販売を強化・拡大

	17/3期 実績	18/3期 計画
受注高	3,204	3,200
売上高	3,077	3,080
セグメント利益	562	540
セグメント利益率	18.3%	17.5%

受注高推移

(単位：百万円)



# セグメント別対象市場の状況と施策：検査機事業

## 高機能フィルム市場

- 二次電池、FPDを中心に堅調な設備投資
- 検査精度のユーザー要求レベルが高度化



- 既存製品の完成度を高め、コストダウン及び要求水準を満たす検査精度の実現を目指す
- 次世代向け検査装置の開発を継続

## 食品市場

- 選果装置の更新需要の回復
- 個食化、食の安全意識の高まりにより加工食品検査需要は旺盛

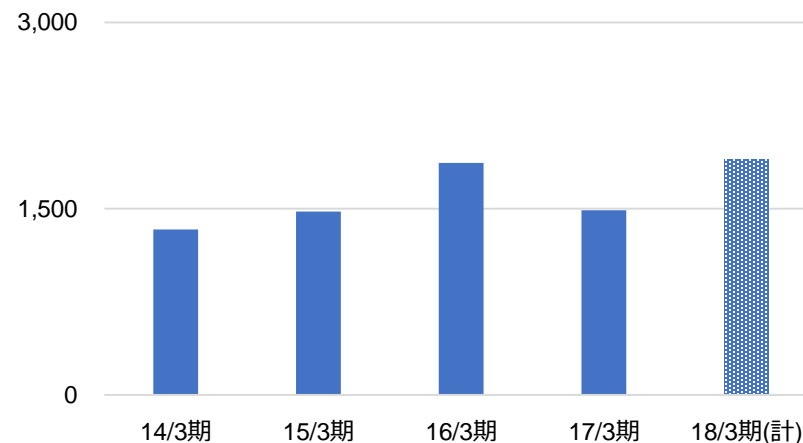


- 選果装置の受注回復に伴い生産・サービス体制を強化
- 加工食品検査装置の営業強化

	17/3期 実績	18/3期 計画
受注高	1,488	1,900
売上高	1,691	1,920
セグメント利益	63	130
セグメント利益率	3.7%	6.8%

受注高推移

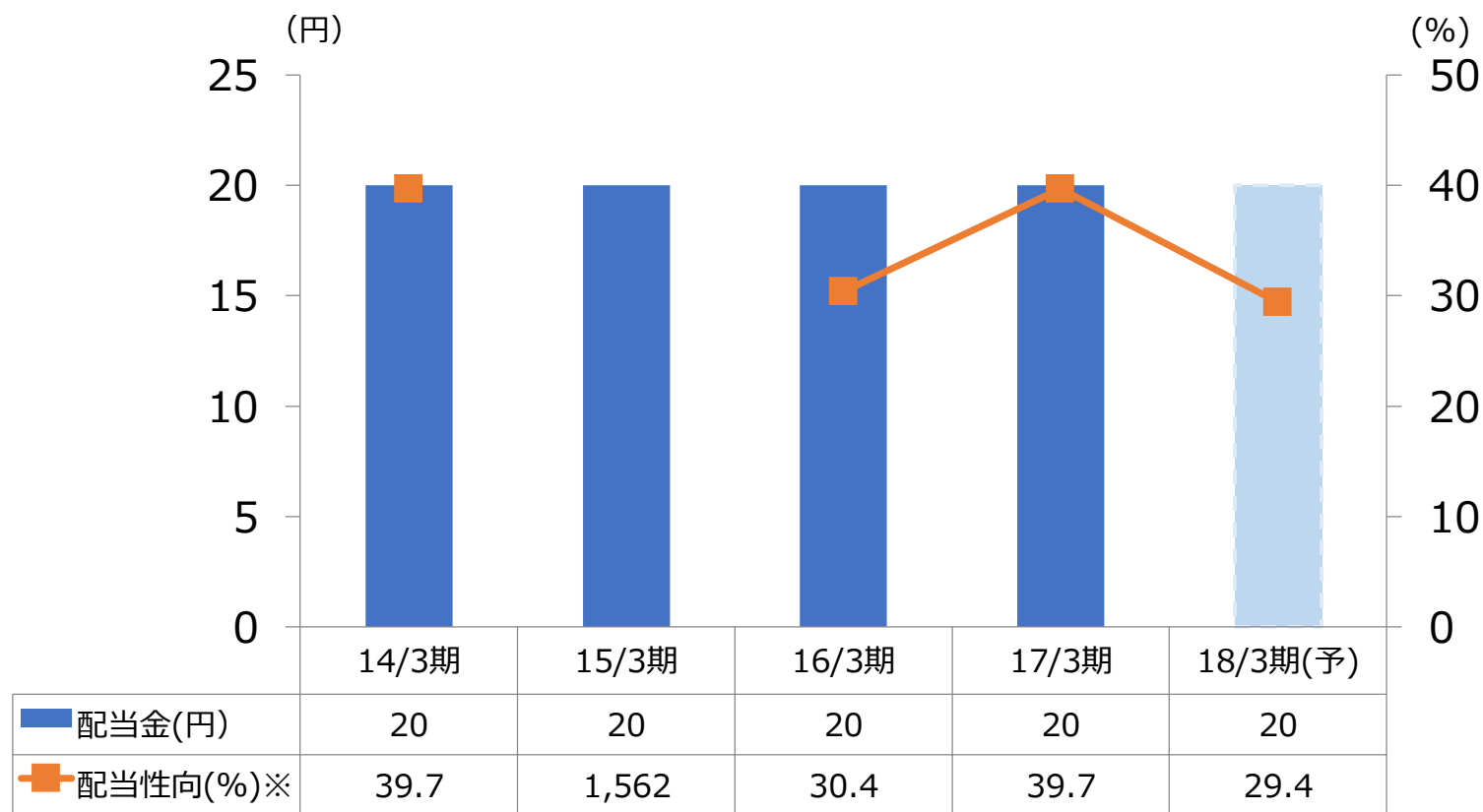
(単位：百万円)



# 株主還元について

**基本方針** 安定配当の維持を基本に連結配当性向35%を目標と定め、その実現を目指す

- 上記方針のもと、中間配当金は1株当たり10円と前中間配当金と同額を決定

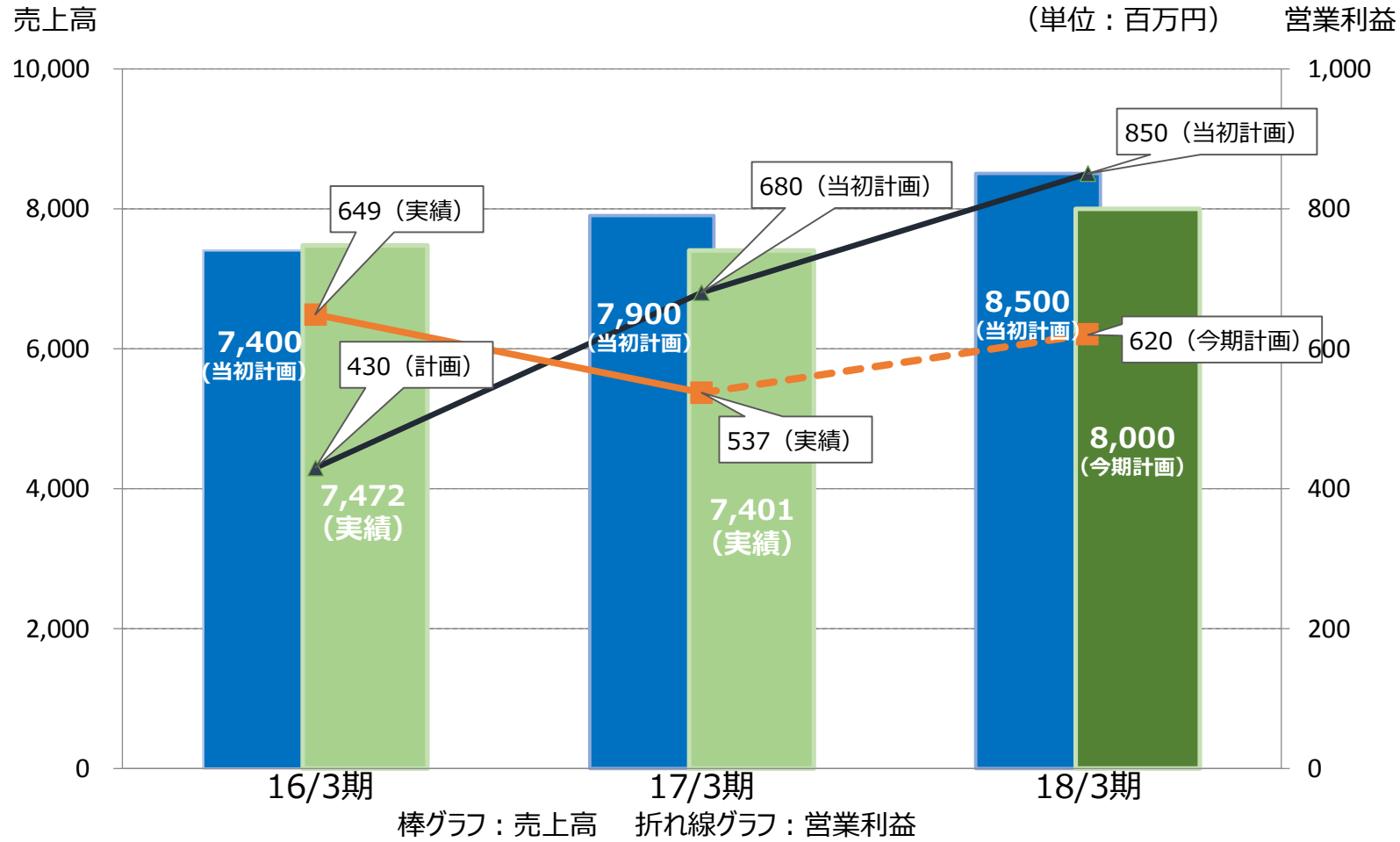


(※配当性向は連結ベースを表示)

# 3. 持続的成長に向けて

# 中期3カ年計画進捗

➤ 当初計画から下方修正したものの、重点テーマの推進により持続的成長の実現を目指す

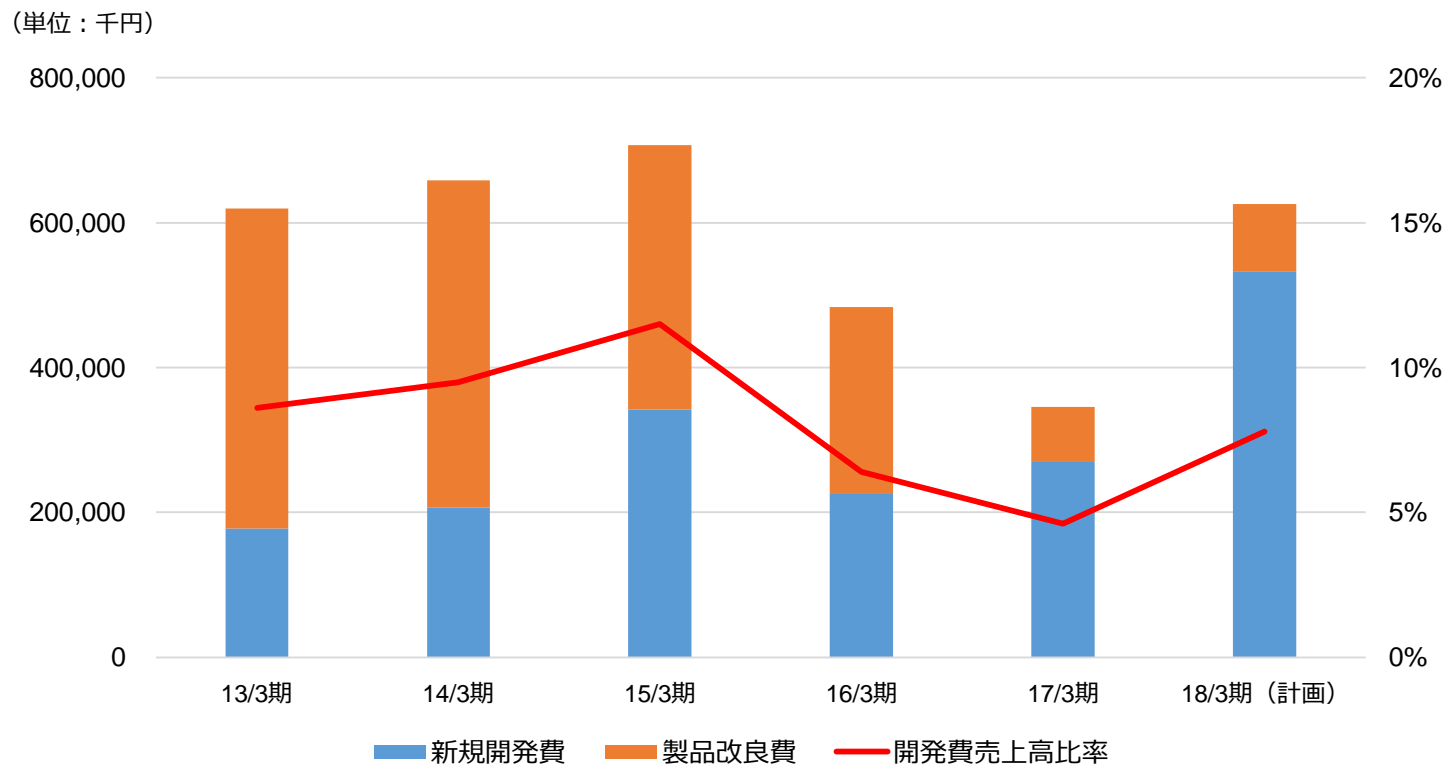


# R&D

- 新たな収益源の創出に向けて新規開発案件への取組み強化
- 開発テーマの絞り込みによる開発期間の短縮・タイムリーな市場投入

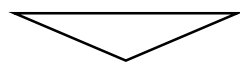
主な開発テーマ

- 次世代検査機の開発
- レーザー技術による製品開発
- 磁界・マイクロ波技術による製品開発



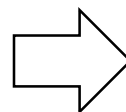
# 持続的成長に向けた重点テーマ

## いかなる環境下においても成長できる体制の実現



### 市場の拡大

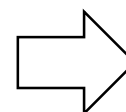
- プロセス事業における海外展開の推進強化
- 検査機事業における食品業界への本格参入
- レーザー技術を活用した医療、半導体、微細加工分野の開拓



**事業基盤の拡大強化**

### 技術の進化

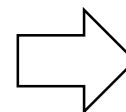
- 磁界、マイクロ波技術による製品開発
- レーザー技術の取り込みによる光学技術強化
- 次世代技術に対応した検査機の開発
- 人的投資の強化



**競争優位性の向上**

### 経営体質の強化

- 中長期的視点での積極的な成長投資による不足リソースの補完
- グループ連携強化によるシナジー最大化



**経営基盤の強化**



# 参考資料

## 会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	342名*
連結売上高	7,472百万円*

\* 2017年3月期連結ベース

## 沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動控制机器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所（現東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2017年 : 株式会社メガオプトを子会社化

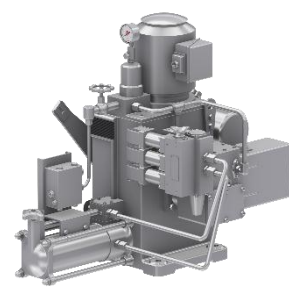
## 経営理念

### 「技術と信頼」

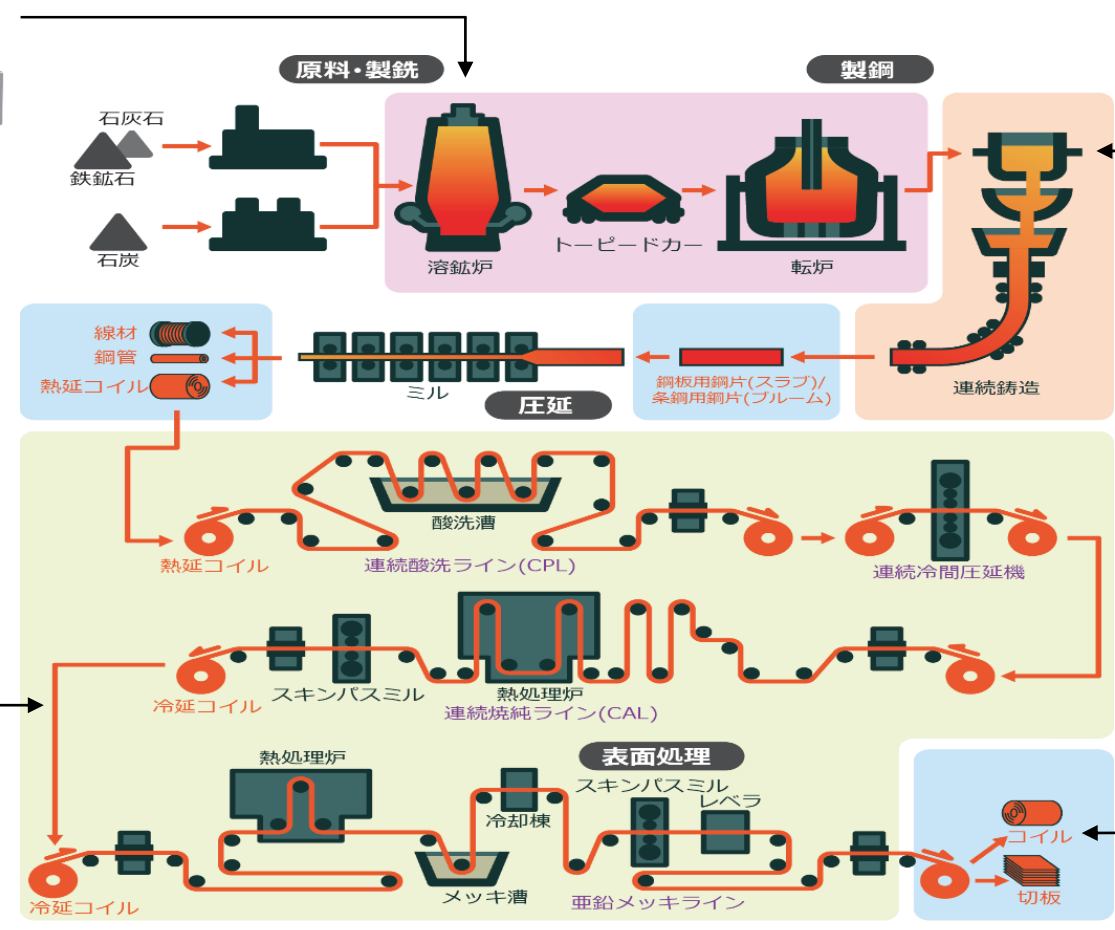
われわれは、制御、計測、検査技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。ひいてはパートナーシップにより生み出された価値が広く社会において喜びと感動をもたらす経営を目指します。

## プロセス事業

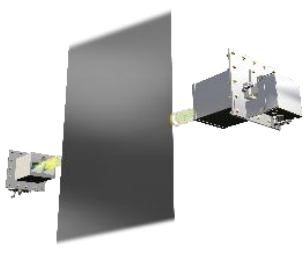
鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業などあらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



プロセス制御装置



渦流式溶鋼レベル計



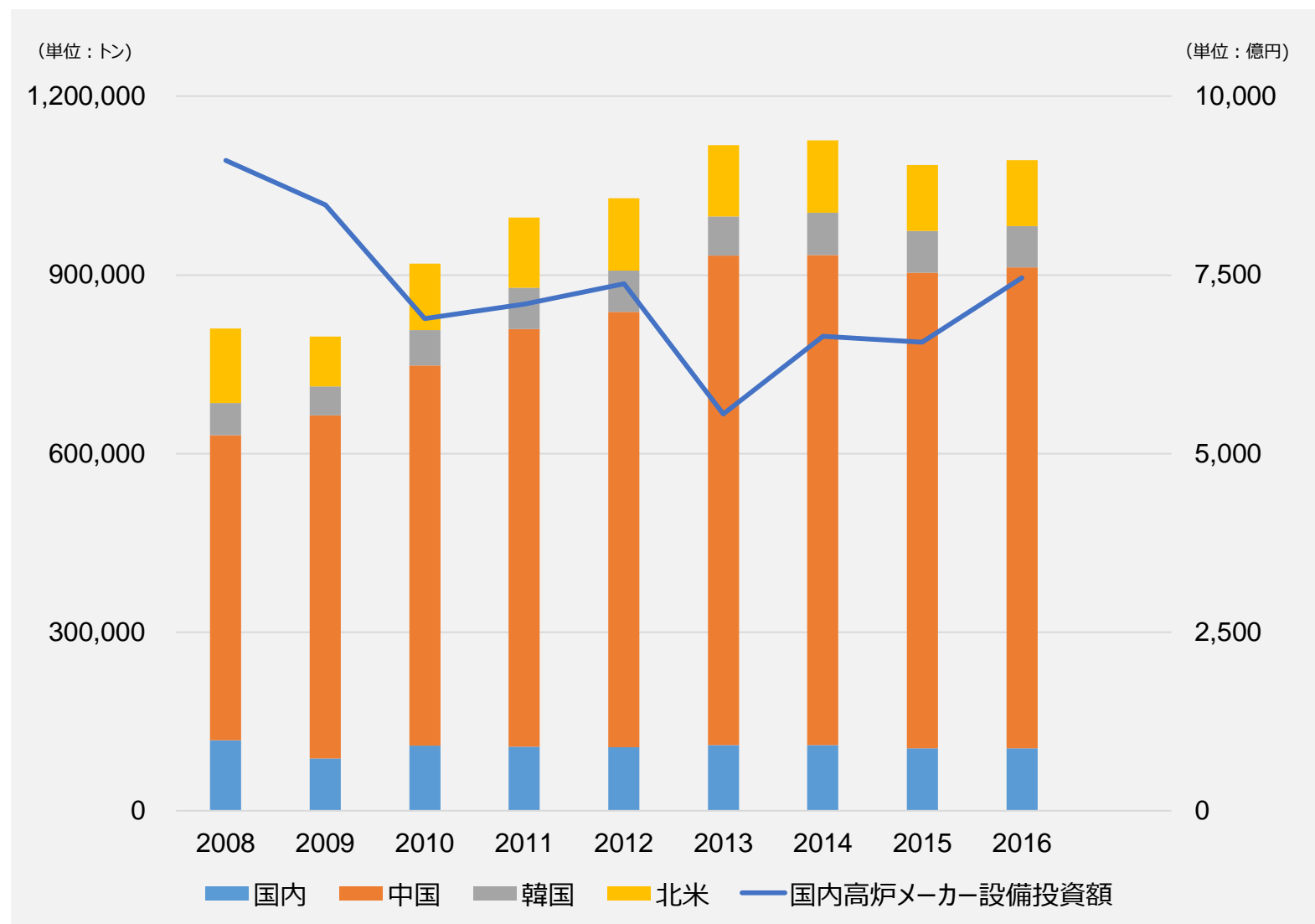
耳端位置制御装置



自動識別印字装置

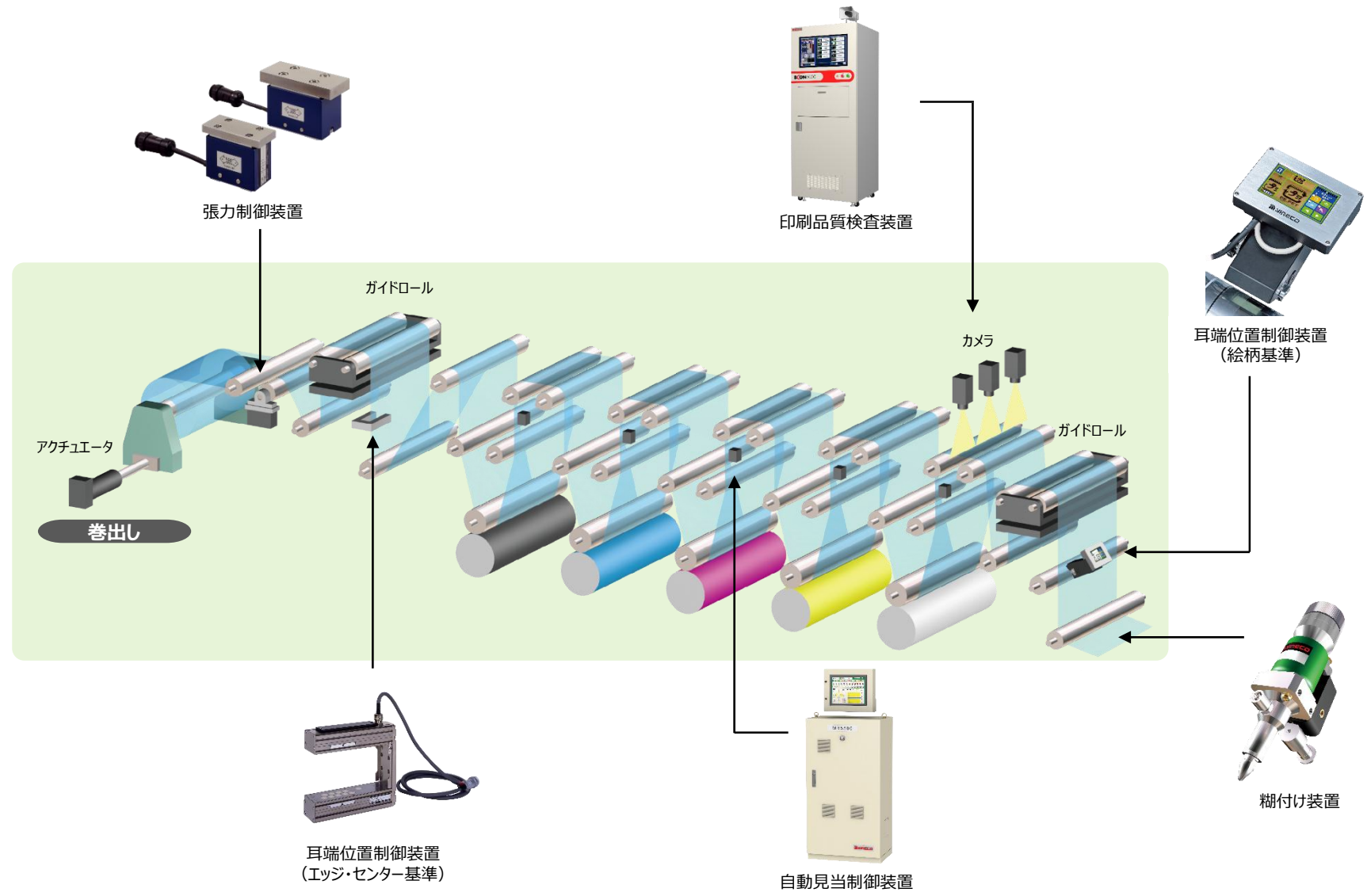
# プロセス事業

## 地域別粗鋼生産量及び国内高炉大手設備投資額の推移



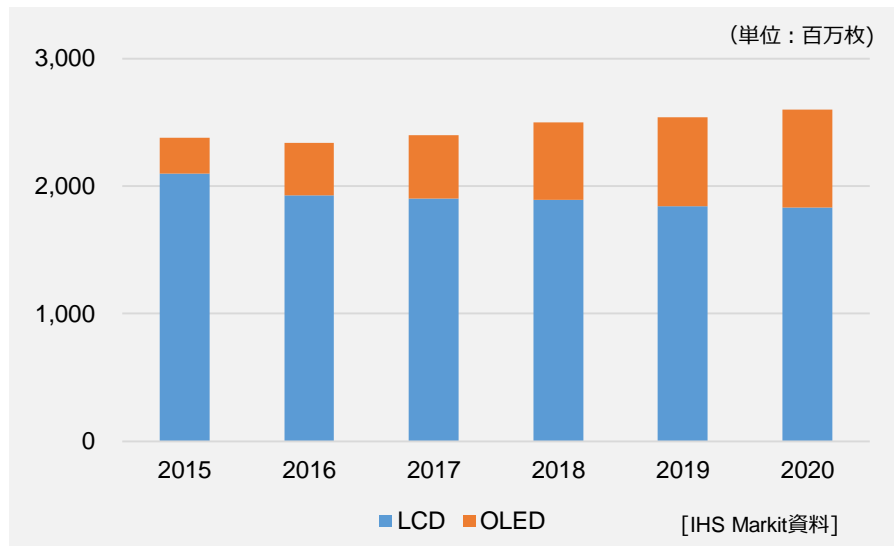
## ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔など薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置などを扱う事業です。

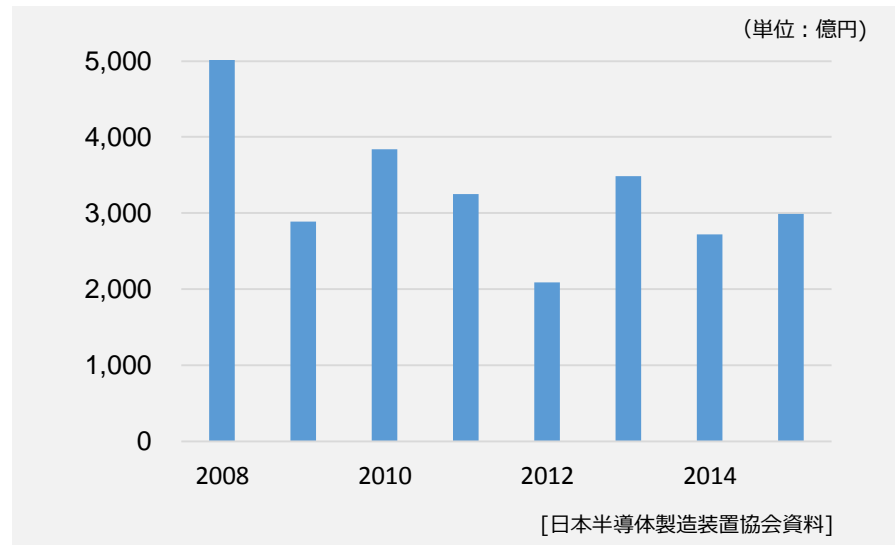


# ウェブ事業

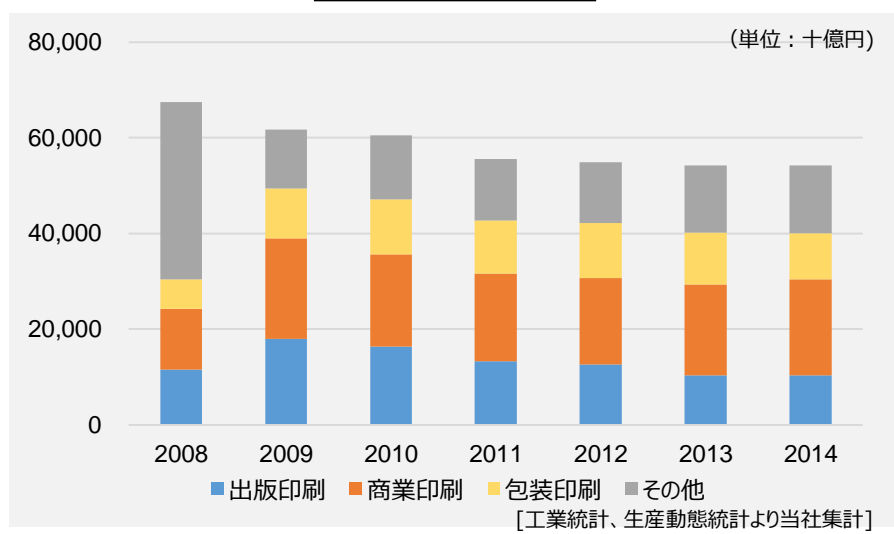
### 中小型パネル世界出荷数量予測



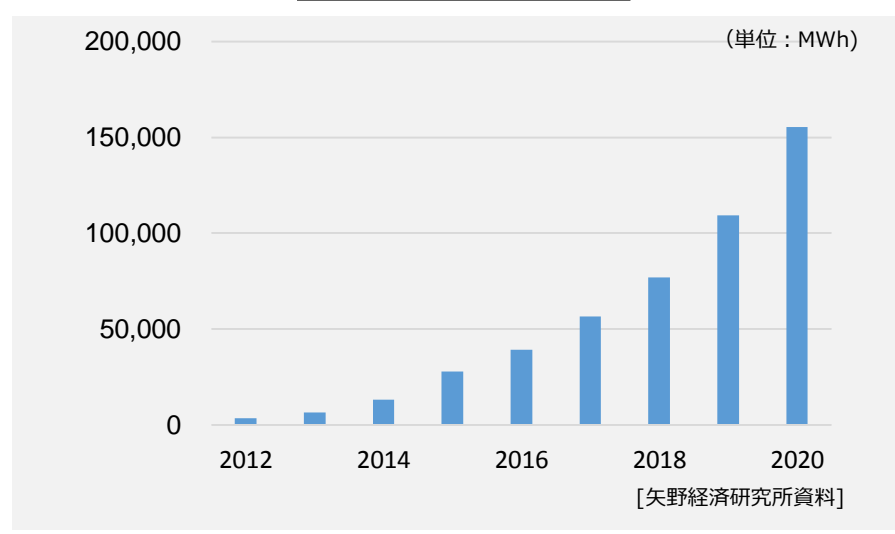
### 国産FPD製造装置販売高の推移



### 印刷市場規模の推移



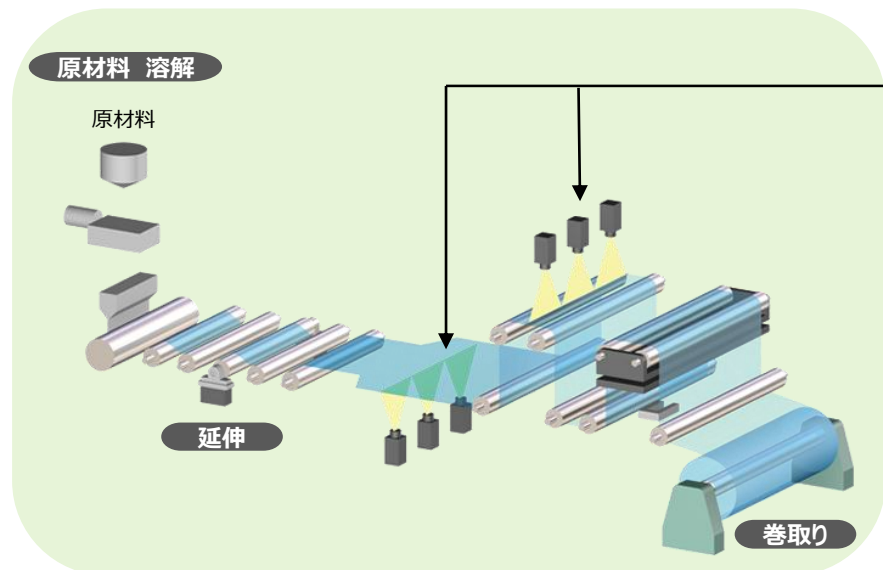
### 車載用Lib世界市場予測





# 検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



# 検査機事業

食品機械国内販売額の推移（除、加工機械）

